

今号の主な記事

- 3面 漁船漁業技能実習生に労働関係法令講習を実施〈鹿児島〉
- 4面 各自治体へ海運・船員の政策諸課題に関する申し入れ〈東北・新潟〉

船員しんぶん

◆ホームページアドレス <https://www.jsu.or.jp> ◆Eメールアドレス kaiin@jsu.or.jp
全日本海員組合発行 第3109号 (昭和25年8月24日第三種郵便物認可)

2026年(令和8年)
2月15日

本紙は毎月5・15・25日発行

〒106-0032 東京都港区
六本木7丁目15番26号
全日本海員組合本部
発行人 斎藤 洋
TEL 03-5410-8329
FAX 03-6910-5339
定価 1部 50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

2026
海員春闘

現場の声を要求に!

関東地方支部
大衆討議期間中、
関東地方支部は1月6日から始まつた大衆討議期間中、
訪船や集会で外航・内航・沿
海・港湾・水産それぞれの部門の意見を集約し、現場と執行部間の意思疎通と共通認識を図った。令和8年度労働協定を図つた。

外航部門 (主な意見)
約改定要求案に対する主な意見
・要望は次の通り。
△今年度も統一方針として、
月例賃金の引き上げを求めていただけることを了解した。
△インパクトを持たせるため、
いつもと大幅に上げてもいい。

内航部門 (主な意見)
のではないか。特に船長のパ
イロット（水先人）への流出
が増えている。足りない人員
を外国人船員で埋めている
が、文化の違いを感じること
が多い。
△インフレ率に耐えられるよ
うなベアを行つていただき
たい。



横浜曳船三社現場集会(関東地方支部)



横浜曳船三社(千葉・現場集会)



沿海部門 (主な意見)



水産部門 (主な意見)
△ベアについて物価上昇に見
合つた賃金改定を願う。
△宿泊料は実情に即した見直
しが必要である。

△食料金は物価高の影響を強
く受けているので改善が必要。
△手荷物運搬料については基
準を超えた分を支給するこ
とができるか。

2026年度の労働協約改定に向けて、1月6日～2月16日までを大衆討議期間として、北海道から沖縄までの全国各地で、現場組合員の声を意見集約した。今年の春闘は海運・水産産業、そして陸上の一般企業も含め、昨年から続く物価高騰から生活を守るために厳しい交渉が予想される。大衆討議期間中は、全国各地での担当訪船や現場集会で、要求案に対する現場組合員の意見集約を図った。外航、大型カーフェリー・旅客船、内航・団体、全内航、港湾部門は「船員しんぶん」の号外を配布、水産部門などは各支部から要求案が現場に付された。労働協約改定要求には、各現場組合員の声・意見が反映される。

△賃金は船員の大きな魅力であると考えている。船員の本給について、陸上と比べまだ高いとは思わない。陸上のベアに負けないよう、引き続き頑張ってほしい。

△若手のために昨年よりも手取りが増えるよう、ベアの継続と年間臨時手当が改定されないように頑張ってほしい。

△乗船期間が守られず内航船員が定着しないので、長期乗務の要求は踏み込んだ



1月13日、静岡県の焼津港から株式会社カネシメイチの新造船・遠洋カツオ一本釣り漁船「第18亀洋丸」が出港した。株式会社カネシメイチは、気仙沼市内で唯一、遠洋カツオ一本釣り漁業を営み、これからは「第28亀洋丸」と「第88亀洋丸」の2隻に新造船「第18亀洋丸」を合わせての3隻体制となる。

新造船は静岡県の常石造船で建造され、昨年の10月に竣工式と内覧会が行われた。乗組員の居住区は船内ネット環境も充実し、漁船員の後継者不足に配慮した内容。また、カツオの品質管理も、魚に与えるストレスを最小限に抑える一本釣り漁法で、鮮度と旨味を保ち食卓へ運べるため、今後の活躍が期待される。(気仙沼支部より発信)

新造船 遠洋カツオ一本釣り漁船 第18亀洋丸が出港



海員春闘 大衆討議 鹿児島支部 現場組合員の声を要求に!

鹿児島支部は、1月6日～

2月16日までの大衆討議期間中、現場組合員と意見交換を行い、共通理解を深めていく。令和8年度労働協約改定要求案に対する、各部門の主な意見・要望は次の通り。

内航部門

▽4年連続の満額ベアを勝ち取っていただきたい。

▽年間臨時手当の上乗せをお願いしたい。

▽要員不足による長期乗船が常態化しているため、乗船期間の超過に応じた慰労金の新設は賛成である。

▽船員の魅力回復のため、ベア満額をお願いしたい。

▽代替燃料船手当の対象は、全員に付けてほしい。

▽事務部の要員確保について、会社へ厳しく求めてほしい

▽船員職業の魅力向上のため、満額回答を勝ち取ってほしい。

▽船員の魅力回復や物価上昇に対応できるように、4年連続の満額ベアを勝ち取っていただきたい。

▽宿泊料金が高騰しているため、現行の宿泊料のホテルを探すのに苦慮していることから、実費負担はお願いしたい。

▽船員の魅力回復や物価上昇に対応できるように、4年連続の満額ベアを勝ち取っていただきたい。

▽船員職業の魅力向上のため、満額回答を勝ち取ってほしい。

▽船員の魅力回復や物価上昇に対応できるように、4年連続の満額ベアを勝ち取っていただきたい。

▽船員の魅力回復や物価上昇に対応できるように、4年連続の満額ベアを勝ち取っていただきたい。

▽船員の魅力回復や物価上昇に対応できるように、4年連続の満額ベアを勝ち取っていただきたい。

▽船員の魅力回復や物価上昇に対応できるように、4年連続の満額ベアを勝ち取っていただきたい。

▽船員の魅力回復や物価上昇に対応できるように、4年連続の満額ベアを勝ち取っていただきたい。



訂正

前号の船員しんぶん(2月5日号)の1面の写真説明に誤りがありました。黒川直行弁護士とありましたが、正しくは「黒田直行弁護士」です。お詫びし、訂正いたします。

第40期全国委員・補充選挙の告示	
規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、第40期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告示する。	
一、補充選挙を行う選挙単位と補充定員	第40期全国委員の資格喪失告示
〔選挙単位コード・単位名〕	一、次の者は、規約第47条A項8号により、全国委員資格を喪失したので告示する。
企業単位 093 愛媛地区Dグループ	〔企業区・企業単位〕
二、補充選挙の実施日程	093 愛媛地区Dグループ
立候補届出期間	一村 金蔵
候補者告示	2026年2月15日より
投票期間	2026年2月24日まで
当選人告示	2026年2月25日
三、補充選挙の被選挙人	2026年3月25日まで(予定)
(1) 企業区	1名
全国委員選挙規則第25条B項により、補充選挙告示日に補充選挙を行う企業単位に所属する完全資格組合員とする。	
四、立候補の届け出	
立候補をする者は、全国委員選挙規則付表の一に定める様式に基づく立候補届を担当地区選挙委員会へ提出すること。	
五、補充選挙の実施に関する問い合わせ先	
中央選挙委員会事務局 (総務部)	

第53次派遣海賊対処行動水上部隊

護衛艦「ゆうだち」出国行事

1月28日に第53次派遣海賊対処行動水上部隊護衛艦「ゆうだち」の出国行事が大湊地区総監部（青森県むつ市）にて挙行され、来賓として毎年執行委員、大山浩邦外航部本海賀組合から齋藤洋中央執行委員、大山浩邦外航部

長、外航の職場委員代表としてNYK Energy Inc.株式会社の牧野総太場委員、ENEOSオーシャン株式会社の廣中栄大職場委員が出席し、船員の安全を守る活動へ感謝を伝えた。

護衛艦「ゆうだち」には堤敏雄艦長をはじめ、第53次護衛艦隊をはじめ、第53次護衛艦隊司令官が代読した。また、彼末浩明海上保安監査官も乗組んでいた。馬リア周辺海域派遣捜査隊を編成する久木田修身隊長以下、海上保安官8人を含めた約200人が乗り組み、現在活動中の第52次隊の護衛艦



船員の安全を守る活動に感謝を伝える

出港のようす



「おおなみ」と交代し、約半年におよぶ任務に就く予定としている。

式典では、混迷する国際情勢と海賊行為の増加傾向を踏まえ、任務の完遂、無事の帰國と元気な姿で再会することを祈念する旨の大町克士自衛艦隊司令官の訓辞を伍賀祥裕

護衛艦隊司令官が代読した。

また、彼末浩明海上保安監査官も乗組んでいた。馬リア周辺海域派遣捜査隊を編成する久木田修身隊長以下、海上保安官8人を含めた約200人が乗り組み、現在活動中の第52次隊の護衛艦

の成果を発揮するよう期待す

る旨のあいさつを述べて、これから長期におよぶ任務に就く隊員たちを激励した。

出国行事式典の来賓紹介で紹介された齋藤中央執行委員は、出港する海上自衛官と海上保安官へ、洋上で無事を祈念するとともに日本商船隊の護衛任務に対する感謝を伝えた。式典終了後に護衛艦

に見送った。

鹿児島支部 漁船漁業技能実習生に労働関係法令講習を実施



1月7日、宮崎県日南市の日南市漁業協同組合大堂津支所と南郷漁業協同組合において、外国人漁業技能実習生に労働関係法令の講習会を実施した。講習は技能実習生の自己紹介に始まり、本組合の鹿児島支部の執行部と本部水産部のファイザル職員が、全日本海員組合の活動について紹介した後、△給料その他の報酬について△安全衛生について△漁船漁業技能実習生に関する労働関係法令△災害補償について△船内秩序についてなどを説明した。

最後に「実習では病気やけがをしないよう気を付けて、頑張っていただきたい」と激励し、困ったことや相談があれば海員組合に連絡するよう伝えた。

（鹿児島支部）



南郷漁業協同組合

